

一般社団法人 日本医療薬学会
平成 27 年度第 5 回定例理事会 議事録

一. 開催日時：平成 27 年 10 月 25 日（日） 13 時 ～ 16 時 20 分

二. 開催場所：日本医療薬学会会議室

三. 出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：望月 眞弓、奥田 真弘、松原 和夫

理 事：青山 隆夫、大森 栄、桂 敏也、川上 純一、河原 昌美、吉光寺 敏泰、
草井 章、谷川原 祐介、濱 敏弘、山本 康次郎

監 事：乾 賢一、大石 了三、山田 安彦

会計顧問：五十嵐 邦彦

陪席者

事務局：星 隆弘

欠席者

理 事：井関 健、北田 光一、千堂 年昭、宮崎 長一郎、山田 清文、山本 信夫

年会長：安原 真人（第 25 回年会）

四. 議長：佐々木 均

五. 会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 14 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六. 議事の経過の概要及びその結果

1. 平成 27 年度第 4 回定例理事会議事録の確認

議長より、本年 8 月 30 日に開催された平成 27 年度第 4 回定例理事会議事録を基に議事内容の確認が行われ、修正等がある場合には本理事会終了時まで指摘するよう要請があった。また、前回理事会から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 協議事項

(1) 平成 28 年度の事務局体制

議長より、本年 9 月に本学会の事務局長を公募したところ、1 名の応募があった。昨日、人事委員会で採用面接を実施し、その結果報告及び採否に係る対応方針の説明があった。協議した結果、採用条件等を精査した上で応募者と協議するなどし、その結果をもって採用或いは日病薬への事務委託の継続を判断する方針となった。

(2) 学生会員増加対策

奥田副会長より、学生会員増加対策検討WGにおける協議経過の説明があった。同WGで協議を進める中で、学生が学術活動をしやすい環境の整備が肝要であるという意見があり、それを中心に協議を進め、①本学会の年会や公開シンポジウムのプログラムに学生が主体となって企画・実施するシンポジウム等を組み入れること、②学生が主体となって学術活動をしている団体等に支援することなど、学生のニーズに合う形での本学会の関わり方を検討することの2件の対応方針を中心に、今後さらなる協議を進める説明があった。なお、出席理事から本学会の認定制度における学生会員の会員歴の取扱いを見直し正会員と同様にすべきではないかという意見があった。

(3) 特定個人情報（マイナンバー）の取扱い

谷川原理事より、本年10月より施行されたマイナンバー制度に係る本学会との関わり及び対応として、同制度により来年1月1日以降に本学会が主催する年会・公開シンポジウム及び講習会において、年間5万円を超える謝金の受給者に交付する支払調書にマイナンバーの記載が義務化されたこと、それに伴い本学会の対応としてマイナンバー及び本人証明書類等の収集・管理方法、諸規程・手順書及びインフラなどの整備の必要性などに関する説明があった。また、来年3月末を目途とする諸規程及び手順書等の整備に係るスケジュールが示された。

(4) 第7回臨時社員総会資料、進行等の確認

議長より、第25回本学会年会の2日目（11月22日(日)）に開催する第7回臨時社員総会の資料、進行、議事録署名人名及び会場レイアウトに係る説明があった。協議した結果、五十嵐会計顧問より、予算書上の一部表記に修正を求める意見があり、当該修正を加えた上で本総会の資料を確定することとなった。

(5) 平成27年度指導薬剤師委嘱に係る再審査結果

青山理事より、前回理事会の協議を経て了承された指導薬剤師委嘱に係る再審査について、対象者より追加提出された資料を基に認定薬剤師制度委員会による審査の結果、指導薬剤師の委嘱要件を充足していると判定したことが報告された。協議した結果、本件は了承され、新たに1名を指導薬剤師として委嘱することとなった。委嘱日及び委嘱期間は、本年6月に委嘱された指導薬剤師と同様に取り扱う。

(6) 薬物療法専門薬剤師認定制度規程の改正

河原理事より、薬物療法専門薬剤師は認定薬剤師をベースに研修、受講及び臨床実績（症例サマリ50症例）を上乗せする認定条件となっていることより、昨年改正された認定薬剤師の論文及び学会発表の取扱いに準じ薬物療法専門薬剤師認定制度規程を改正すること。また、本改正による認定条件の適用時期を、平成28年度の認定申請時より適用とするが、移行期である28年度に限り改正の前後の新旧2つの認定条件を併用する形での申請受付及び審査を実施する運用をとることが説明された。協議した結果、スーパージェネラリストとなる専門薬剤師は認定薬剤師とは異なることより、現行の認定条件でも良いのではないかという意見もあったが、本認定制度の活性化及び今後の発展を図るため、本改正は了承された。

(7) 学会パンフレットの作成

山本(康)理事より、本学会パンフレットの改訂版について、広報委員会において協議したところ、学生の意見を聴取しながら学生に分かりやすいインパクトがある形のものとし、写真の多用、本学会の年間活動スケジュールの図示化、認定制度、海外研修、学会誌、年会の開催予告等の紹介記事を取り入れた構成及びレイアウトにすると取る共に、今後の作成及び配布スケジュールならびに制作費用等に係る説明があった。協議した結果、一部表記を修正した上で、パンフレットの作成が了承された。なお、次回の改訂の際には、薬剤師が病棟で活動している写真の採用も検討すべきとの意見があったため、今後、広報委員会で会員を対象に当該活動状況の写真を公募することが示された。

(8) 医療事故調査制度の運用開始

奥田理事より、本年10月1日より施行された医療事故調査制度に係る概略の説明と本学会の関わりとして、本制度の対象となるものは予期せぬ死亡事故等に限定されていること及び本学会は協力学会として登録しているため、本学会への協力依頼がある可能性などが報告された。

(9) 化学療法学会等からの賛同依頼「ASへの提言」への対応

議長より、日本化学療法学会より本国の医療現場での Antimicrobial Stewardship (AS) の定着及び推進を図るため、日本化学療法学会、日本医療薬学会の他、日本薬学会、日本 TDM 学会、日本感染症学会、日本臨床微生物学会、日本環境感染学会の7学会が協働で取り組むことへの賛同依頼及び本学会の代表者として1名の推薦依頼があったことが説明された。協議した結果、今件について同意することとし、奥田副会頭を本学会の代表者とする事となった。

(10) 薬剤師生涯学習達成度確認試験に係る対応

議長より、本理事会で継続的に報告及び協議されている薬剤師生涯学習達成度確認試験の実施要領の最新版を基に現状報告、担当事務局の薬剤師研修センターによる内閣府への相談に係るスケジュール、さらに試験問題の提供に伴う本学会の対応に関する説明があった。協議した結果、今後、同センターと実務的な協議を進めるにあたり WG 等で検討課題を整理し、試験問題の取扱い、守秘義務や謝金等に係る規則などを整備すると共に、試験問題の提供に係る対価の獲得等について協議することとなった。

(11) その他

議長より、第8回定時社員総会を平成28年3月26日(土)に横浜で開催する計画及び予定議題が説明された。同日の午後の時間帯に他学会の会議等の開催が予定されているため、本学会の理事会及び社員総会の開催時間に配慮を求める意見があった。

続いて、本年11月より平成28年度の各学会賞の募集を開始する旨および事務局の賃借料の値上げ要請に係る説明があり、前者については了承され、後者については、日病薬の対応状況を参考にする形で本学会の対応を検討することになった。

3. 報告事項

(1) 平成 28, 29 年度役員候補者選挙公示

現在、本学会HP上で公表している平成 28, 29 年度役員候補者選挙の立候補者名簿及び役員候補者の選出スケジュールを基に、今後の選任プロセス等が確認された。複数の所属区分を跨ぐ勤務実態を有する者の取扱いについて意見が交わされ、今後、必要時には議論を進めることとなった。

(2) 第 25 回年会準備状況報告

議長より、第 25 回年会の準備状況として、事前参加登録者数が 7282 名であること、会場の設営状況及び最新の収支予算の見込み額の説明に続き、市民公開講座の紹介があった。

(3) 公開シンポジウム実施状況報告

青山理事より、第 57 回（9 月 19 日開催・東京）及び第 58 回（9 月 19 日開催・鹿児島）の各公開シンポジウムに係る開催報告書及び収支報告書を基に、開催概要が報告された。特に、第 57 回のシンポジウムでは、学生が研究成果を発表する形となった初めての試みであり、盛況且つ継続的な実施が望まれるものであったことが報告された。

(4) 後援依頼（6 件）

議長より、本学会に依頼があった次の 6 件の後援依頼を承諾したことが報告された。

- ・「第 11 回日本癌治療学会アップデート教育コース」（日本がん治療学会）
- ・「第 19 回オンコロジーセミナー」（NPO 法人がん医療研修機構）
- ・「医療薬学フォーラム 2016／第 24 回クリニカルファーマシーシンポジウム」（日本薬学会）
- ・「第 5 回日本薬剤師レジデントフォーラム」（日本薬剤師レジデント制度研究会）
- ・「第 10 回記念シンポジウム・口腔内崩壊錠等の現状と展望」（PLCM 研究会）
- ・「第 8 回 JSOPP 学術大会」（日本がん薬剤学会）

(5) 委員会報告

第 4 回広報委員会

山本（康）理事より、第 4 回広報委員会（10 月 14 日開催）において、学会パンフレット作成に係る校正を実施したことなどが報告された。

(6) 第 3 回がん専門薬剤師アドバンス研修会報告

濱理事より、本年 9 月 11 日に北海道大学を会場とした第 3 回がん専門薬剤師アドバンス研修会（9 月 19 日開催・東京）の実施及び収支状況の報告があった。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 16 時 20 分に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会頭 印

監事 印

監事 印

監事 印